

令和8年度 にじいろプラン

小規模校の良さを生かし、児童一人ひとりが笑顔で、安心して学校生活を送ることができるような教育活動の実現を、地域や保護者と協力してめざしていきます。

教育基本法
学校教育法
学習指導要領等

学校教育目標

かわさき教育プラン

- (1) 健康でたくましい子ども (2) 希望をもち自らを高める子ども
(3) 明るく心豊かな子ども (4) よく考え工夫する子ども (5) すすんで働く子ども

自立

協働

創造

考え、表現し、自らを高める

人にやさしく、大切に

だれかのために自ら行動
工夫し、自ら切り開く

社会に開かれた教育課程

【中期経営目標】

I 一人ひとりに

資質・能力を身につける

- ◎資質・能力を育み、主体的な学び手を育む。
- ◎「対話的で深い学び」の授業づくりに取り組む。

II 互いのよさを認め

尊重しあう

- ◎一人一人が違いを認め、多様性を尊重し合いながら共生・協働の心の育成を目指す。

III 生きる力の育成

- ◎児童一人一人のよさを引き出し、主体的に考えて行動する児童を育てる。
- ◎他者貢献、社会参画の態度と心を育成する。

IV 保護者や地域から信頼

される開かれた学校

- ◎市民から信頼される学校づくりを進め、コミュニティ・スクールとして地域と共に歩む学校を目指す。

【短期経営目標】

○全教科で「聴いて・つなげる・深める」授業を行う。

・「学びのサイクル」の実現によって、自分で考え、対話や交流によって考えを広げられる、また、自分らしく表現できる児童を育成する。

○発言により学びが深まることを実感させる。

○いのちの授業と日常的な人権尊重教育、人や自然とのかかわりを通して共に生きようとする心豊かな人間性の育成。

○児童の声に耳を傾け、心に寄り添う支援を全職員で行う。

・問いかけて待つ、表現させて、認めることを積み重ねる。

・児童同士の認め合いの場で自己肯定感を高める。

○児童の自主的な活動を引き出す取り組み。

・役割を与え、考えて行動する力を育成する。その中で責任感や自己有用感を育てていく。

○めあてをもち、考えて行動し、振り返ることで、成長を自覚する資質・能力を身に付けさせる。

○自分の心と身体を調整する力を育成する。

○家庭・地域、学校運営協議会と連携し、その教育力を活用した学校づくり。

・積極的な情報発信。
・防災・防犯、情報モラル意識等、安心・安全への意識を高めることに取り組む。

・地域素材を生かした授業とカリキュラムをつくる。

【具体的な取り組み】

○「あたたかな聴き方・やさしい話し方」の獲得。

・うなずきで「共感」、「違いの聞き分け」「質問」で学びを深める。

○「自分の言葉で話せる子」の分かりやすく育成。

・相手に届く声、わかりやすく伝える工夫を考える子の育成。

○「わからない」からスタートし、解決していく問題解決型の学びを行う。

○いじめのない学校づくり。

早期発見と適切な初期対応。

・異なる考えを認めるクラスの雰囲気をつくる。

○自分、友達や周りの人を大切ににする心を育てる。

○感謝の心を育てる教育

○たてわり活動や異学年・異世代とのかかわりからの学びによるやさしい心の育成。

○様々な機会を生かして、子どものよい姿を認めていく。

○児童の創意による活動で、自ら考え、行動する力が育つ取り組みを行う。

・計画委員会による「学校を共につくる」取り組みなど。

・各委員会で「学校のために何ができるか」を考え、実行しふりかえりの力と他者貢献の力の育成。

○たてわり活動、学級活動、行事などの役割で、自分の考えを伝える力を育てる。

○地域・保護者の理解と協力を得て学校をつくる。

・保護者の学校行事や教育活動への参加を増やす。

・保護者による読み聞かせを行う。

○学校だより、学級だより、学校ホームページ等で、児童の姿、学校の情報を発信。

○学校運営協議会と共に学校力向上に努める。

○保護者や地域の方の参加学習、ミニ発表会などのかかわりを増やす。